

平成 27 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ア イ・ピ ー・エ ス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 渡 邊 寛  
 (JASDAQ・コード4335)  
 問 合 せ 先 取締役経営企画室長 嶋 保人  
 電 話 06 - 6292 - 6236

第 2 四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 8 月 13 日に公表いたしました平成 27 年 6 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 6 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 6 月期第 2 四半期累計個別業績予想と実績の差異(平成 26 年 7 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)  
 (単位：百万円)

|  | 売上高  | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり四<br>半期純利益 |
|--|------|------|------|--------|------------------|
|  | 百万円  | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭              |
| 前回発表予想 (A)                             | 550  | 40   | 40   | 22     | 9.21             |
| 実績値 (B)                                | 818  | △23  | △24  | △19    | △8.19            |
| 増減額 (B - A)                            | 268  | △63  | △64  | △41    | —                |
| 増減率 (%)                                | 48.7 | —    | —    | —      | —                |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 26 年 6 月期第 2<br>四半期) | 579  | 43   | 43   | 26     | 11.09            |

2. 平成 27 年 6 月期通期業績予想の修正(平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)  
 (単位：百万円)

|                              | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
|                              | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 円 銭             |
| 前回発表予想 (A)                   | 1,200 | 85    | 85    | 47    | 19.67           |
| 今回修正予想 (B)                   | 1,700 | 30    | 30    | 22    | 9.21            |
| 増減額 (B - A)                  | 500   | △55   | △55   | △25   | —               |
| 増減率 (%)                      | 41.7  | △64.7 | △64.7 | △53.2 | —               |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 26 年 6 月期) | 1,182 | 22    | 22    | 15    | 6.51            |

### 3. 業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、受注が順調に推移し、売上高は前年同期に比べ大幅に増加して、収益改善に貢献いたしました。しかしながら、第1四半期に発生した将来を見据えた先行投資費用や海外展開に伴う旅費交通費等は、グローバル展開を図る中堅企業が増えていくなかで、多様な顧客ニーズに対応するためには必要不可欠であり、第2四半期においてもこれら経費の一部が継続して発生したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前回予想を下回ることとなりました。

平成27年6月期通期におきましては、新規案件を複数受注しており、下半期の売上高はさらに拡大することが見込まれます。一方、先行投資や海外展開に伴う旅費交通費等の経費の一部は第2四半期累計期間同様に推移すると予想されますが、人員配置の見直し等、業務効率化による経費削減に努め、通期での黒字化を見込んでおります。

以上の要因により、通期業績予想を修正するものです。

\*上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上